

陳 情 文 書 表

受 理 番 号 ・ 受 理 年 月 日 及 び 件 名	陳情第84号（6．5．9） 神戸市の子供たちのために教育バウチャー制度導入を求める陳情
陳 情 の 要 旨	神戸市の独自予算で、学校外の市内の学習塾や家庭教師、文化・スポーツ教室、フリースクールなど個別のニーズに合うサービスが利用できる教育バウチャー制度を導入すること。
陳 情 者 の 住 所 及 び 氏 名	神戸市垂水区 岡平 知子
送 付 委 員 会	教育こども委員会

神戸市会議長 様

陳情者  
神戸市垂水区

岡平 知子

## 神戸市の子どもたちのために教育バウチャー制度導入を求める陳情

### 【陳情趣旨】

子どもたちの学力や学習意欲の向上、個性や才能の伸展を図るとともに子育て世帯の経済的負担を軽減、部活動を地域移行していく為など、神戸市においても教育バウチャー制度の導入が必須だと考えます。以下 理由を述べます。

・ 学校外教育は、学校のカリキュラムでは十分にカバーされない領域や深掘した学習、運動、文化芸術教育等を提供することができ 子どもたちが個々の才能や興味に合わせたプログラムを受けることにより自己肯定感も高まり、個々の能力の伸展に繋がると考えます。さらには、子どもたち自身が新たな興味や趣味を発見することにも繋がり、知的的好奇心向上への意欲を高めることができるとも考えます。

・ 家庭の経済状況により、学校外教育を受けることができる子どもたちと受けることのできない子どもたちの間に教育格差が生じています。教育バウチャー制度導入により、経済的な制約に左右されず、子どもたちが平等な教育機会を享受できるようになり 教員の負担なく教育の格差を縮めることができると考えます。

・ 不登校児童生徒に関しても、経済的負担が大きいためフリースクールへ通うことができない子どもも多く存在し、現状の公教育だけでは、子どもの権利条約第28条教育の機会の平等と学ぶ権利の保障がされているとは全く言えません。教育バウチャー制度の導入により、様々な学びの機会を確保し、将来の社会参加や自己実現の可能性を広げることにもなり、不登校支援にも繋がると考えます。

・ 教育バウチャー制度の導入は、学習塾 文化・スポーツ教室等の関連事業にも好影響をもたらし、地域経済の活性化や教育機関の充実が期待され、ひいては地域社会の活性化に繋がると考えます。

なお、神戸市と同じく政令指定都市である大阪市においては、既に「習い事・塾代助成事業」が導入されており、都市間における教育格差を生まないためにも教育バウチャー制度の導入は必要であり、神戸市でも教育バウチャー制度の導入を強く求めます。

### 【陳情項目】

- 1 神戸市の独自予算で、学校外の市内の学習塾や家庭教師、文化・スポーツ教室、フリースクールなど 個別のニーズに合うサービスが利用できる 教育バウチャー制度を導入してください。